

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	不登校の子どもたちの居場所づくり
資金分配団体名:	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク
実行団体名:	特定非営利活動法人風車
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	栃木県
事業対象者:	不登校やひきこもりで悩む子供たち

Version 3.2

日付：2022/3/20

I. 事業概要

事業実施概要	<p>現在活動している居場所「風の家」にて大学生や教職経験者による無料の学習支援を通して不登校や引きこもりになっている子供たちが学習の遅れを少しでも取り戻してもらおう。また、貧困問題や何らかの理由で塾に通えないこどもたちの支援に繋げる。勉強だけでなく、様々な悩みを話せる居場所の役割も担う。また、運営を所属大学生や精神的な障がいをもっていることで社会に溶け込むことが難しい人たちが行うことにより、サポートをする側の自己実現や自己有用感の向上につながる。若者の中で社会貢献に対する意識を高め、助け合いの精神を育むことが期待できる。</p> <p>SNSや広報誌を通して、活動を地域住民に発信し、支援を得る仕組みを作る。</p>
--------	--

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>インターネット回線を整えたこととタブレットを導入したことで自ら調べものをしたり動画を見たりなど障がい者の仲間にとっても楽しい時間と子供たちとの会話の話題や自ら学ぶことの面白さや学習に対する意欲にもつながった。学生たちが関わることで、勉強だけでなくゲームをしたり工作をしたりと子どもたちも無理な気づかいや遠慮をせずに楽しく時間を過ごせるようになった。また、不登校の子どもたちや障がい者の保護者にとっても居場所での活動や保護者同士の繋がりがあることので安心とホッとできる時間を持ってもらうことができた。</p> <p>もっと多くの子どもたちに利用を呼びかけたかったが、緊急事態宣言などコロナの影響もあり、密にならないように気遣いをしなければならず人数制限やソーシャルディスタンスなど、かなりの制限もあり思うように活動ができなかった部分もあったが、検温、消毒、マスク着用などの感染対策をしっかりとってほぼ予定通りに活動を続けることができた。また、ウォーキングイベントや餅つきなど、屋外活動には、地域の人たちやたくさんのお子もたちも含め、学生たちの参加者も多く賑やかにできたのでとても良かった。ホームページ作成や新聞の発行、チラシを作成したことで、広報活動ができ応援してくれる仲間が増えてことも大きな収穫となった。また、活動新聞やチラシを各学校や行政窓口を設置してもらうことで連携の強化に繋がった。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
子ども・学生	学習機会の不足/格差	不登校や何らかの理由で学校の勉強が遅れが出ていた子供一人ひとりのペースに合わせた学習支援を大学生が中心となって行っている。	学習支援の開催実績のカウント	学習支援開催実績週1回(計36回)	64回	したことと課外授業もできたことで子どもたちも喜んでくれた。
子ども・学生	連携の不足	学習支援に参加してくれる学生や若者が増え、学生ボランティアの人数も増えている。	大学生や若者の参加者数のカウント	大学生や若者の参加数延べ180名	210名	水曜と木曜の学習支援の他にも課外授業としての外でのイベントなど、学生や若者たちが協力してくれた。
子ども・学生	不登校	子供たちに勉強に対しての意欲が表れてタブレットを使つての学習もできるようになっている。	実際の子どもの参加者数のカウント	子供たちの参加者数延べ150名	280名	タブレットの導入もあり水曜日の学習支援を増やしたことで子どもたちの参加する回数が増えたことが結果として増加になった。
障害者	居場所の不足	学習支援のお手伝いをする中で障がいを持つ人も活躍できる居場所となっている。	実際の障がいを持つ人の参加者数のカウント	障がいを持つ人の参加者数延べ80名	160名	不登校の子どもたちと勉強だけでなくゲームや工作、お絵描きなどをして関わってくれたことで障がい者の仲間たちの活躍できる居場所にもなった。
その他	連携の不足	市内の小中学校、高校、行政窓口などに広報誌やチラシを掲示できている。	広報誌やチラシの配布場所の件数のカウント	広報誌・チラシの設置件数20か所	23か所	市内の学校だけでなく行政の各窓口や図書館、公民館などにも設置できたことで、今後の連携にも繋がった。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>学校復帰や将来に対しての子供たちや親たちの不安解消の場としての役割を担うことと引きこもり対策に繋がる居場所の確立。</p> <p>学校以外の無償で教育を受けられる機会として認知度が高まり、必要とする児童生徒や保護者に利用され、対象ではない人々にもセーフティーネットとして知られる。継続的な活動とその効果的な発信によって、関わる学生の年齢層と人数が拡大し、団体とその活動を支援してくれる人も増加する。</p>
考察等	<p>毎回3名～4名の学生たちが支援してくれ、毎週3名～5名の子どもたちと障がい者の仲間が来てくれた。学生も障がい者の仲間たちも子どもたちもかなり打ち解けて居場所での時間を楽しんでいるということは子供たちだけでなく保護者にとっても安心とホッとできる時間を持ってもらうことができていると思う。活動紙やチラシ配布、設置などの効果もあり、小学校や中学校、行政との情報共有（個人情報を守りながら）や問題点の解決策の話し合いなど、学校と保護者と子どもと風の家との繋がりが深まり連携強化に繋げることができた。しかし、みんなが支えあい気軽に集える居場所の存在と必要性はまだまだ認知度が低いので今後は新たな広報活動も考慮していかなければならないと思う。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
不登校や引きこもりに悩んでいる子どもや親の居場所として運営している「風の家」において毎週木曜日の夕方6時から9時までの3時間、大学生が中心となって不登校に悩んでいる子ども、何らかの理由で塾に通えない子どもたちを対象とした無料の学習支援を行う。	ほぼ計画通り	コロナの影響で休んだり人数が減ったりもしたが木曜日だけでなく水曜日の学習支援も含め、学生だけでなく障がい者の仲間たちや元教職員などの協力により感染対策には十分気づかいしながら行った。
毎週水曜日に運営している居場所「風の家」において通ってくる子供たちの話相手や学習のサポートを行う。	ほぼ計画通り	緊急事態宣言もあり、一時的に休んだ日もあったが時間短縮や感染予防対策を強化して様々な活動を行った。
学生ボランティア（ユースボランティアはためく）が中心となってLGBTの啓発活動を企画開催する。	計画通り	情報展示や勉強会など計3回の啓発活動ができた。
地域の歴史や自然体験などのウォーキングイベントを開催する。	計画通り	検温、消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスを守りながら3回のウォーキングイベントをかいさいした。
夏休み中に子供たちが楽しめる夏まつりを開催する。	ほぼ計画通り	夏休みの夏祭りの予定だったがコロナの影響で冬休みに古民家での餅つきと語り部の会のイベントに変更して実施した。
活動の内容を知ってもらうためにNPO法人風車のホームページを作成する。	計画通り	ホームページ作成により広く活動を知らせることができ、問合せも増えた。
団体の活動を地域の方々に知ってもらい会員の拡大に繋げるための活動紙の発行。	ほぼ計画通り	5回のかつどうしんぶんのはっこうができ、市内の学校や行政機関の各窓口を設置してもらえた。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	特になし
---------------------	------

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	不登校の子どもたちの数はかなり増えており、不登校から引きこもりになってしまう人を減らすためにも様々な年代や同じような悩みを経験した人や同じように悩んでいる人たちが気軽に集える居場所の理解と確立をもっともっとしていかなければならないと思う。残念なことに周りの目や世間体を気にして保護者自身が居場所に子どもを連れ出せないといった状況も少なくはない。学習支援も含め、居場所を必要としている子どもたちが来やすくなる環境づくりも進めていく必要がある。また、現在の学生たちが卒業や留学などでこれなくなった場合に次に協力してくれる学生の繋がりもつくっていかなければならないと思う。小学校や中学校、行政との情報共有（個人情報を守りながら）や問題点の解決策の話し合いなど、連携強化と応援をもらいながら学校と保護者と子どもと風の家との繋がりを深めていかなければならないと思う。まだまだコロナに対しての行動制限はあるが無理しすぎず焦らずに今できることを続けていくことで不登校に対する偏見をなくし居場所の必要性を理解してもらい協力の輪を広げていきたい。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
まちづくりやいた	居場所「風の家」に通ってくる不登校の子どもたちや障がい者の方々との交流や話し相手などのサポート活動
ぶらぶらクラブ	ウォーキングイベントや餅つきなどの屋外イベントでの参加と活動のお手伝い
あさち	ウォーキングイベントや餅つきなどの屋外イベントでの参加と活動のお手伝い

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	694,000	677,464	97.6%
	管理的経費	126,000	125,764	99.8%
合計		820,000	803,228	98.0%
補足説明	特になし			

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	11月4日の下野新聞の県北版に風車主催のイベント「市歴史探検とゴミ拾いウォーキング」の記事が掲載された。
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	風車のホームページ作成 https://kazaguruma-yaita.jimdofree.com 活動新聞の発行5回 500部×5回 市内の小中高校と行政機関等に設置配布 ウォーキングイベントや餅つき大会、風の家活動案内のチラシ作成 各100部
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	購入した備品にシールを貼り付け イベントチラシにマークの貼り付け
4.報告書等	3月、決算時に活動報告書を作成して配布予定

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	3月が決算なので、決算書類を含め4月中に公開予定
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	いいえ	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	3月末で決算のため決算書類が揃い次第実施の予定
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部に窓口を設置

XII. その他

自由記述